

本市では、1994年以降、浜田市の山間地を中心に米軍機とみられる低空飛行が続き、地域住民は、日々、爆音や事故等の不安に悩まされています。自宅で病気療養中や育児中の方、乳児、高齢者にとって、突然聞こえてくる飛行音は、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えております。

この9月29日にも、午後0時20分頃、浜田市立佐野小学校（島根県浜田市佐野町）の上空で米軍機による低空飛行が行われ、学校内で給食の準備中であった子どもたちが恐怖におののき、中には、恐ろしさのあまり、床に伏した子どもがいたと学校から報告を受けました。

さらに、職員室においても、大人も恐れるような轟音で、職員室での会話もできないほどであったとも報告を受けております。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行訓練が行われたことは、市は到底容認できるものではなく極めて遺憾であります。

また、同9月29日の同時刻前後に、浜田市金城町及び弥栄町において、低空飛行に係る飛行音により、会話の声やテレビの音は聞こえるものの、何を話しているか聴き取りにくい程の騒音が鳴り響き、苦情が寄せられたところです。

これまで、本市は市民の不安の解消と騒音防止の観点から、島根県を通じて、外務省及び防衛省に対して低空飛行訓練中止を繰り返し要請してまいりました。

大使閣下におかれましては、児童への恐怖心を招いたこの度の学校施設上空での事案のみならず、日々繰り返される低空飛行訓練によって、激しい騒音被害が平穏な生活を乱している実情と、米軍機による事故に対する不安の中で生活しているという市民の心情を認識の上、低空飛行訓練の実態を明らかにし、低空飛行訓練を中止するよう強く要請いたします。

2011年11月2日

アメリカ合衆国

駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 様

日本国 島根県浜田市長 宇津 徹 男

本市では、1994年以降、浜田市の山間地を中心に米軍機とみられる低空飛行が続き、地域住民は、日々、爆音や事故等の不安に悩まされています。自宅で病気療養中や育児中の方、乳児、高齢者にとって、突然聞こえてくる飛行音は、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えております。

この9月29日にも、午後0時20分頃、浜田市立佐野小学校（島根県浜田市佐野町）の上空で米軍機による低空飛行が行われ、学校内で給食の準備中であつた子どもたちが恐怖におののき、中には、恐ろしさのあまり、床に伏した子どもがいたと学校から報告を受けました。

さらに、職員室においても、大人も恐れるような轟音で、職員室での会話もできないほどであつたとも報告を受けております。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行訓練が行われたことは、市は到底容認できるものではなく極めて遺憾であります。

また、同9月29日の同時刻前後に、浜田市金城町及び弥栄町において、低空飛行に係る飛行音により、会話の声やテレビの音は聞こえるものの、何を話しているか聴き取りにくい程の騒音が鳴り響き、苦情が寄せられたところです。

これまで、本市は市民の不安の解消と騒音防止の観点から、島根県を通じて外務省及び防衛省に対して低空飛行訓練中止を繰り返し要請してまいりました。

貴職におかれましては、児童への恐怖心を招いたこの度の学校施設上空での事案のみならず、日々繰り返される低空飛行訓練によって、激しい騒音被害が平穏な生活を乱している実情と、米軍機による事故に対する不安の中で生活しているという市民の心情を認識の上、低空飛行訓練の実態を明らかにし、低空飛行訓練を中止するよう強く要請いたします。

2011年11月2日

アメリカ合衆国

海兵隊 岩国航空基地司令官

ジェームス・C・スチュワート大佐 様

日本国 島根県浜田市長 宇津徹男

外務大臣
玄葉光一郎様

米軍機による低空飛行訓練中止の要請について

本市では、1994年以降、浜田市の山間地を中心に米軍機とみられる低空飛行が続き、地域住民は、日々、爆音や事故等の不安に悩まされています。自宅で病気療養中や育児中の方、乳児、高齢者にとって、突然聞こえてくる飛行音は、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えております。

この9月29日にも、午後0時20分頃、浜田市立佐野小学校（島根県浜田市佐野町）の上空で米軍機による低空飛行が行われ、学校内で給食の準備中であつた子どもたちが恐怖におののき、中には、恐ろしさのあまり、床に伏した子どもがいたと学校から報告を受けました。

さらに、職員室においても、大人も恐れるような轟音で、職員室での会話もできないほどであつたとも報告を受けております。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行訓練が行われたことは、市は到底容認できるものではなく極めて遺憾であります。

また、同9月29日の同時刻前後に、浜田市金城町及び弥栄町において、低空飛行に係る飛行音により、会話の声やテレビの音は聞こえるものの、何を話しているか聴き取りにくい程の騒音が鳴り響き、苦情が寄せられたところです。

これまで、本市は市民の不安の解消と騒音防止の観点から、島根県を通じて、貴省庁及び防衛省に対して飛行中止・訓練中止を繰り返し要請してまいりました。

貴職におかれましては、児童への恐怖心を招いたこの度の学校施設上空での事案のみならず、日々繰り返される低空飛行訓練によって、激しい騒音被害が平穏な生活を乱している実情と、米軍機による事故に対する不安の中で生活しているという市民の心情を認識の上、低空飛行訓練の実態を明らかにし、低空飛行訓練を中止するよう、貴職から米軍等の関係機関に申し入れることを強く要請いたします。

平成23年11月2日

島根県浜田市長 宇津徹男

防 衛 大 臣
一 川 保 夫 様

米軍機による低空飛行訓練中止の要請について

本市では、1994年以降、浜田市の山間地を中心に米軍機とみられる低空飛行が続き、地域住民は、日々、爆音や事故等の不安に悩まされています。自宅で病気療養中や育児中の方、乳児、高齢者にとって、突然聞こえてくる飛行音は、極度のストレスを受け心身や生活に悪影響を与えております。

この9月29日にも、午後0時20分頃、浜田市立佐野小学校（島根県浜田市佐野町）の上空で米軍機による低空飛行が行われ、学校内で給食の準備中であつた子どもたちが恐怖におののき、中には、恐ろしさのあまり、床に伏した子どもがいたと学校から報告を受けました。

さらに、職員室においても、大人も恐れるような轟音で、職員室での会話もできないほどであつたとも報告を受けております。

日米合同委員会の合意において、住民に与える最大限の安全性を確保すべき上記学校施設において、このような低空飛行訓練が行われたことは、市は到底容認できるものではなく極めて遺憾であります。

また、同9月29日の同時刻前後に、浜田市金城町及び弥栄町において、低空飛行に係る飛行音により、会話の声やテレビの音は聞こえるものの、何を話しているか聴き取りにくい程の騒音が鳴り響き、苦情が寄せられたところです。

これまで、本市は市民の不安の解消と騒音防止の観点から、島根県を通じて、貴省庁及び外務省に対して低空飛行訓練中止を繰り返し要請してまいりました。

貴職におかれましては、児童への恐怖心を招いたこの度の学校施設上空での事案のみならず、日々繰り返される低空飛行訓練によって、激しい騒音被害が平穏な生活を乱している実情と、米軍機による事故に対する不安の中で生活しているという市民の心情を認識の上、低空飛行訓練の実態を明らかにし、低空飛行訓練を中止するよう、貴職から米軍等の関係機関に申し入れることを強く要請いたします。

平成23年11月2日

島根県浜田市長 宇津 徹 男